

新しい風と出会う

ヒューマン・ネットワーク仙台

発行/一般社団法人ヒューマン・ネットワーク仙台 〒980-0812 仙台市青葉区片平1-1-3-405 FAX 022-797-2306 E-mail hensyu@human-sendai.net (編集部)



東北大学大学院 大滝精一 教授

ポテンシャルはある

仙台、東北では、農業も中小企業もい
素材、材料、資源が存在している、震災の
前から少しずつ花開いてきたといわれてい
ます。ところが、人材、素材、資源は眠っ
ていて、潜在的なポテンシャル(可能性)
なので、それを自分たちで見つめ、評価す
るのは難しいことです。それを域外の人
からちがう角度で見てもいい、企業のこれ

中小企業は今

アベノミクスの「三本の矢」は、金融緩和
財政出動に続き、第三の矢、成長戦略が示
されました。その骨子は、「産業再興」「戦
略市場創造」「国際展開戦略」の3つで、
成長させる国家戦略や方向性が示されて
きた。

二本の矢で株価が上がり、円安になりま
した。輸出産業は利益を上げるようになり
明るさ、将来展望は開けてきていますが、

一方地域の中小企業にとっては、円高は素
材、原材料の値上がりで苦しくなり、地元
の企業は正念場を迎えることでしょう。
注目すべきは安倍政権が農業など一次産
業を成長産業にもっていくという力強い
メッセージを出したことです。これまでの
保護政策で農家を守ってきたところから
変わってきています。

この産業全体も世界の動きが外向きに
目を向け、広い世界を見て考えていかない
と、行き詰って、活路が見出せなくなっ
てしまいます。

地元企業の活性化を目指せ!!

**地元企業のニュービジネス支援や起業ベン
チャー育成の中心的存在である東北大学大学院
大滝精一教授に、被災地宮城における中小企業活
性化の必然性と課題を伺った。**

INDEX	
■巻頭メッセージ(1・2頁)	地元企業の活性化を目指せ! 東北大学大学院教授 大滝精一さん
■資本増強の味方(2頁)	エンジェル税制
■中小企業支援団体特集(3-6頁)	○ 仙台商工会議所 ○ 東北ニュービジネス協議会 ○ 宮城県中小企業家同友会 ○ 宮城県中小企業団体中央会 ～会員企業のレポート～
■情報トピックス(7頁)	○ 地元風景を水彩画で復活&活性化 「仙台北下町百景」 ○ 被災地東北のラグーマンへ大漁旗を 送ろう! ○ 講演会情報など
■はじめまして!ヒューマン・ネットワーク 仙台です(8頁)	○ 活動内容のご案内

が特徴、これが強みを評価してもらう。
また、域内に点在する素材集めて、つなげ
て組み上げていくのも十分にできていな
い。これが東北の現状ではないでしょうか。
地域の資源を集めて、ひとつの方向性を
みせたいという「山形工房」です。「山形
工房」は素材調達からデザイン開発、組み
立てまでを地域で進めるプロジェクトで
す。デザイナー、コーディネーターのよ
うな人たちが、山形にあるものづくりの優
れた能力、素材を持っていた地元企業を何
社か統合し、地域ブランドを作っています。
こうした方式がこれから加速してきてい
ています。

成長の芽をみつける

個々の中小企業にとって必要なのは、ど
こに新しい成長の芽があるか、発展する可
能性があるか、社長自身も社員も検討する
ことも大切ですが、異業種から見てもら
って評価してもらうことも重要です。実は
自分たち知らなかった自分の産業、企業
の力、特長、おもしろさ、強みが分かって
ニュービジネスの芽が見えてきます。

ニュービジネスはまったく知らない事
業、業界に飛び込んで、ゼロから新規事業
を立ち上げることはありません。自分た
ちが持っている人材や資源、商品力、サー
ビス力を異業種の目から見てもらって、そ
こから新しい切り口で価値を見てもらうこ
とから始まるのです。これが今の中小企業
にとって大切なことなのです。

何かやらなくてはいけないが、見つから
ないと、中小企業の皆さんは問題意識を
持っていると思いますが、よくわからない
まま時間が過ぎて、消耗して悪循環に落ち

た。例えば塩釜のような伝統的な水産加
工漁業の町で、そこに甘んじていると、
水産加工、食、観光、塩釜神社の歴史、文化
伝統をリンクしながら塩釜ブランドを作
って行くことが始まっていて、それが動き始
まると、塩釜だけで閉じているようなことにな
らず、大きな広がりを持つようになってい
ります。

東日本大震災は大変不幸なことで、復興
も長い道のりでしょうが、新しい出会いが
生まれています。実はこれが大きいことな
のです。

震災復興を担っていく人たちが外から
やってきている。石巻では、東京から被
災地に飛び込んできて、地元の産業を復
活させようと、大漁旗に注目して、これ
を素材にして新しいデザインを加えて、
ブランド化を目指している。震災復興の
過程の中で、いままで出会うようなこと
がなかった、おそらく何もなければ会うよ
うなことがなかった人たちが出会ったので
す。大企業の中で蓄積されてきたスキル、
マーケティング力などを持った人たちが地
元の人が遭遇する機会がこれか
ら増えてくるでしょう。それは復興の支援
をしてもらうということだけではないので
す。自分たちも新しいものになっていく
るチャンスなのです。

それを回避するには、異業種・他産業
からいろんな面を見てもらう機会を作り
発信していくことが重要です。新しい切り
口を見つけていくのは新しい成長の芽を見
つけることでもあります。

鳴子のこけしがヨーロッパで高く評価さ
れている。それをうけて、ちがった切り口
でマーケティングしていくということ
です。伝統産業、伝統工芸をまったく新し
い視点で捉えなおし、今までの歴史、文化
職人の技とか熟練を継承しながら新しい切
り口、新しいデザインを付加していくこと
という動きが宮城県でも生まれてきました。

**出会い、交流はビジネス
チャンスを生む**

塩釜を例にすれば、伝統的な水産加工の
人たちが、藻鹽(もしお)の新しいブラン
ドのフェイスを作って、売ります。藻鹽で
新しいブランドを作っていくには、観光で来
る人たちの目も変わる。ネットで売ればブラ
ンドになっていく。中心部のシャッター通
りを塩釜ブランドの集積拠点にする。塩釜
に行けば、いろんなことができるよとなれ
ば、町に人を呼び込める。

人との出会い、人とのつながりで、自分
たちも新しいものになっていくという
ことを掴めれば、これは大きな可能性に
なっています。

さんいちファームのように、震災がなけ

れば出会わなかった地元の農家の三人が出
会い、三人は手を組んでブランドの支援で
再び野菜を作るようになった。こういう出
会いもあったのです。これが一過性で終わ
らず、次のものに繋がるのが大事だと
思っています。皆でそこに新しいことが起
こっているということに注目して、手法を
さらに若い人や中堅に繋いでいく、つなげ
ていくという伝染性のようなものを作って
いくことです。東北にはそれぞれの県にす
ばらしい企業があって、それが点としてあ
るのです。点としてがんばっても、面にな
らなければ、強みは発揮できません。たと
えば、長野県の諏訪。ここには中小企業が
いっぱいあって、多くはセイコーエフソン
と結びついているのですが、昔からの製糸
業、製糸機械、時計、カメラとかあって、
そういう流れのなかで、創意工夫して新し
いものに取り組んでいます。あの限られた
広さの諏訪盆地のなかに中小企業がこれ
だけ集まって、がんばっています。そうい
う集積した地域は東北にはないですね。集積
がないと、パワーが出てこない。全体とし
てパワーが萎んでいきます。大きな面積で
なくても、面を展開し、できるものを作り
出していくことも、今の東北の中ではす
く大切なことだと思います。

東北はおもしろい

NHKの朝のドラマ「あまちゃん」です
が、若い人たちの動きで、町が変わり、活
性化していく。このドラマで久慈が活性化
するなら、NHKの力でしょうが、小さな
ところで、やれるものもあるのです。いく
つもの町が歩み始めています。

大崎市では、「おおきき発酵と食文化研
究会」、栗原市では、「くりはら田園観光都
市創造事業」など、やっています。田舎で
おもしろいものがないというけれど、探せ
ば、おもしろいものがいっぱいある。おも
しろい素材があるので、
コーディネーター、デザ
イナーを見つけてきて、
繋いで、働いてもらえ
る。こうした人たちの
つながり、この結びつきが、
付加価値を生み出すのです。
そこで、つないであげる人がいて、ど
このどういものがあるか旗を振って教え
てあげる人がいなければならぬ。残念で

ですが、東北の中にはそういう人が不足して
いる。

コーディネーター、デザイナーを見つ
けてきて、働いてもらうには、仙台の役割が
大きいのです。仙台がそういう町に変わ
っていくという可能性があれば、仙台に留ま
ることなく仙台の外に広がっていきます。
仙台そのものが持っているデザイン力、
クリエイティブの力をもっと引き上げてい
くことも大事です。国際音楽コンクールな
ど、ああいう流れをもっと広げていく、そ
ういう町を作っていくことを同時並行的に
やっていくのです。

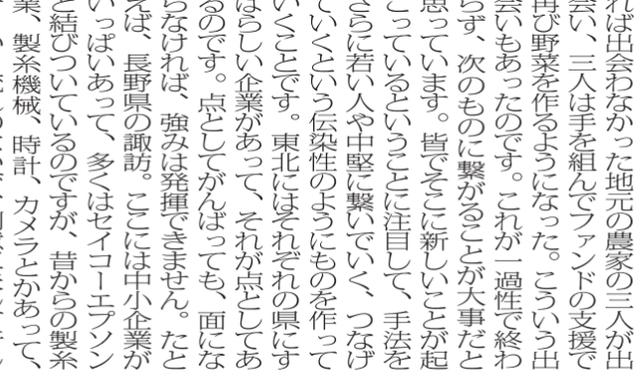
ニュービジネスというものをもっと広
いグラウンドから見ると、新しい切り口を
見出し、いくことが大事かなと思います。

大滝精一氏プロフィール
(東北大学大学院経済学研究科 教授)

長野県生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士
後期課程単位修得退学。
専修大学経営学部講師、東北大学経済学部助教など
を経て1999年より現職。
2011年4月より研究科長(経営政策担当)。
著書に『事業創造のダイナミクス』(白桃書房1989
年)、『経営戦略(新版)』(有斐閣2006年)等。特定非営
利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、
一般財団法人地域創造基金みやぎ理事長、同音楽の
力による復興センター・東北代表理事等を務める。

大滝精一氏プロフィール
(東北大学大学院経済学研究科 教授)

長野県生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士
後期課程単位修得退学。
専修大学経営学部講師、東北大学経済学部助教など
を経て1999年より現職。
2011年4月より研究科長(経営政策担当)。
著書に『事業創造のダイナミクス』(白桃書房1989
年)、『経営戦略(新版)』(有斐閣2006年)等。特定非営
利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、
一般財団法人地域創造基金みやぎ理事長、同音楽の
力による復興センター・東北代表理事等を務める。



大滝精一氏プロフィール
(東北大学大学院経済学研究科 教授)

長野県生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士
後期課程単位修得退学。
専修大学経営学部講師、東北大学経済学部助教など
を経て1999年より現職。
2011年4月より研究科長(経営政策担当)。
著書に『事業創造のダイナミクス』(白桃書房1989
年)、『経営戦略(新版)』(有斐閣2006年)等。特定非営
利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、
一般財団法人地域創造基金みやぎ理事長、同音楽の
力による復興センター・東北代表理事等を務める。



大滝精一氏プロフィール
(東北大学大学院経済学研究科 教授)

長野県生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士
後期課程単位修得退学。
専修大学経営学部講師、東北大学経済学部助教など
を経て1999年より現職。
2011年4月より研究科長(経営政策担当)。
著書に『事業創造のダイナミクス』(白桃書房1989
年)、『経営戦略(新版)』(有斐閣2006年)等。特定非営
利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、
一般財団法人地域創造基金みやぎ理事長、同音楽の
力による復興センター・東北代表理事等を務める。



大滝精一氏プロフィール
(東北大学大学院経済学研究科 教授)

長野県生まれ。東北大学大学院経済学研究科博士
後期課程単位修得退学。
専修大学経営学部講師、東北大学経済学部助教など
を経て1999年より現職。
2011年4月より研究科長(経営政策担当)。
著書に『事業創造のダイナミクス』(白桃書房1989
年)、『経営戦略(新版)』(有斐閣2006年)等。特定非営
利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事、
一般財団法人地域創造基金みやぎ理事長、同音楽の
力による復興センター・東北代表理事等を務める。

ニーズにあわせる

印刷業は従来の製造業と見ることもありますが、印刷団地に入っている会社は印刷にとどまらず、ある会社ではコミュニケーション、ある会社は地元企業に密着して先方の企業の問題解決をする。また、海外に出てブランド化を推進しようという会社もある。チャレンジしている

水産加工業界では、人口が急激に減るわけでもないし、豊かなマーケットがあり、新しいニーズが生まれています。水産業や農業が衰退しているといわれますが、こうしたニーズにうまく対応できていないのが問題なのです。これから高齢

地場産業に異業種の視点を取り入れる

化社会、健康福祉の質を求められるなか水産加工品を作り変えていくことができな。水産業の人たちが、医療、福祉の人たちとタイアップしていくことができ

インベシジョンの活用

農業の再生には、トヨタ生産方式をいれて、見直したいいかもしれませんが、宮城県内には、パプリカ(ベジ・ドリー

パークみらい)など、大きな植物工場ができてきましたが、小さなスケールでもできる。トヨタといえは、愛知県ですが、愛知の農業は全国有数の生産額です。花卉はトップです。

仙台商生病院では、トヨタのかんばん方式を導入して、院内の設備管理や物品の購入調達などを行って、院内の物品の量を管理し、過剰在庫を防いでいます。

日本はオランダに負けないポテンシャルがある。農家の人たちは優秀で品質の高いものを作れる。製造業は機器、装置を作ることで、農業をサポートできる。他産業を束ねて、統合化することでパワーが強くなります。漁業も山の中で海魚を養殖しているのです。農業外の技術を取り入れて、全日本の産産力を注ぎ込み

インベシジョンすることも大切なことです。こうなれば、海外にも打って出ること可能でしょう。

コーディネイト力がほしい

ある地域を見たときに、この人この人を結びつけて、これができるというのは大変すばらしいことだが、今行政の中にはこれができる人材が少ない。

みやぎ産業振興機構や仙台市産業振興事業団はやっているのでしょうか、問題は被災地の自治体が対応できていないのが問題です。そういうところでは、市の産業政策、ものづくりをリードしてこなかったもので、力も、感覚もない。自分たちも何をやらなければならないか、立ち往生している。復興計画は立派なものが出てきて、実施に移す手順で戸惑っている。民間と手を組むときには、どっぴり窓口を作る

か何をやらなければならないのか、セッティングできないで苦しんでいる。

当面復興のことで言えば、こうした状況に風穴を開けることが大事になっていきます。どこかでモデルになるようなことをやらなければならぬ。

私が応援している東松島市では、他の市町村に比べると取り組みが少し進んでいる。東松島みらいとし機構(愛称:HOPE)を設け、民間活力を取り込んだ復興に取り組んでいます。民間企業の力を取り込む工夫がされていて、そこに一日の長がある。その復興計画をつくっている人たちのなかに、まったくちがう大企業から中堅の4人がきていて、アクティブに進めている。4つの分科会をつくり、20のプロジェクトが進んでいる。しかも、いい方向に進んでいる。こういう仕組みをつくり、コーディネイトができる人がいたのに、感心しました。



復興に新しい付加価値を

各被災地の復興を見ると、復興計画自体が絵に描いた餅で終わってしまうような不安が出ています。野心的な計画があっても、どこまでやれるのか不安が出ている。

復興計画は早く作ることが求められてきた。今さら作りなおしは難しいでしょうから、実質見直しややっていくしかないでしょう。そのためには、その地域の持っている資源を見直して、丁寧にやるながら地元の企業の人たちも繋げていくということをやりたいかなければならぬいでしょう。この町の産業再生ができるという切り口をみつければ、優先的にやって行くことになるでしょう。

再生可能エネルギーで、太陽光発電をやるというのはどの被災地でもやっ

中小企業活性化の旗を振れ

中小企業の紹介や水揚げがあまりました。復興しましたという話題を提供するのではなく、ここはこうですと付加価値を示すような伝え方をしたい。それを大きな旗を振って教え、人々をそこに引き寄せていくようなメディアになって欲しい。こうした動きを生み出して欲しい。

世代交代しているはずだが、トップが交代していない。新しいビジネス、動きを感じているのは中堅から下の若い層で、仙台でも新しい層が台頭してきている。震災で外からおもしろい人たちが入ってきている。仙台外の企業と繋がっておもしろいことをやっている例はいっぱいあります。こう言うところに、スポットライトをあてて欲しい。

記事を読むだけでなく、人と人のつながりが生まれ、ビジネスも生まれ、地元や地元企業を活性化させるようなメディアになってほしい。

中小企業活性化の旗振りを「ヒューマン・ネットワーク仙台」に期待しています。(聞き手 編集部 川村信五)



エンジェル税制

応援するエンジェル税制を、いまこそ活用いたしましょう! ◆「寄付に代えてベンチャー企業に出資しよう!」 自分がやりたいことを代わりにやってくれる起業家(ベンチャー企業)を捜せば、寄付金控除を受けながら社会貢献ができるのです。もちろん、株主として起業家にアドバイスすることもでき、お金以外の何か返ってくるかもしれません。そうです。「寄付して終わりではもったいない!」のです。資金調達という起業家の最大の悩みを解決し、自らも「社会貢献している」という満足感が得られる制度、それが「エンジェル税制」なのです。 如何ですか。読者の皆様もエンジェル税制を活用して賢い投資家の仲間入りをしてみませんか。

「エンジェル税制」をご存知ですか? 創業間もないベンチャー企業に資金を提供する個人投資家のことを、困っている人を助ける天使に例えてエンジェル投資家と呼びます。エンジェル税制とは、そのような投資家に対して税の優遇をする制度で別名「起業応援税制」、正式には「ベンチャー企業投資促進税制」と呼ばれています。 この制度は、個人投資家(法人は対象外)が経済産業省の認定を受けた一定の未上場ベンチャー企業(特定中小会社)に対して投資(その企業の株式を購入しエンジェルになる)を行い、その旨の確定申告をすることにより税法上の優遇措置が受けられるというものです。



わかりやすいパンフレットもあります

エンジェル税制に関する問い合わせ 東北経済産業局 産業支援課 電話 022-221-4882

減税対象となる投資家・企業の要件

- では、個人投資家やベンチャー企業はどんな要件を満たせばよいのでしょうか。 <個人投資家の要件> ・金銭の払い込みにより対象となる企業の株式を取得していること。 ※他人から譲り受けた株式や現物出資により取得した株式は対象外。 ・対象企業が同族会社の場合は、所有割合が50%を超える株主に本人が属していないこと。 <エンジェル税制対象企業の要件> ・創業(設立)3年または10年未満の中小企業者で、それぞれの要件を満たす必要があります。 ・特定の株主グループからの投資の合計が5/6(約83%)を超えない企業。 ・大規模法人グループ(資本金1億円超等)の所有に属していない企業。 ・未登録/未上場の株式会社で風俗営業等に該当する事業を行う会社でないこと。

ここで、東北経済産業局主催の「創業支援セミナー」で講師を務めたユナイテッド・アドバイザーズ代表取締役西内孝文氏の講演の一部をご紹介します。

「面白そうな会社を支援して、所得税還付!」

これはと思う会社(ベンチャー企業)に出資して「寄付金控除」が使えたら、あなたならどうしますか? エンジェル税制を活用すれば、寄付金控除と同様の所得税の優遇措置が受けられます。しかも、お金の戻ってこない寄付と違って株式がもらえて、将来株の売却益や配当が出る可能性もあるとしたら、これは考えてみる必要があると思いませんか? 実績不問で最初からチャレンジする企業を

なったと言えるでしょうが、その背景には、経済産業省がエンジェル投資対象企業をホームページで公表する「事前確認制度」ができて投資対象となる未上場ベンチャー企業に対してのメリットも付加され、その結果、対象となる企業の数が増加したことも要因として挙げられます。

投資家・企業のメリットと事前確認制度

- では、個人投資家やベンチャー企業にはどんなメリットがあるのでしょうか。 <個人投資家のメリット> ・投資時点と売却時点のいずれの時点でも税制上の優遇措置が受けられる。 ・投資した年の所得税か株式譲渡益のどちらかが控除の対象となる。 ・売却時に損失が発生した場合でも3年間の繰り越し控除が受けられる。 ・事前確認を受けているベンチャー企業への投資だからリスクが少ない。 <ベンチャー企業のメリット> ・投資家リスクが少ないので投資機会の創出につながり、自己資本が充実する。 ・レバレッジ効果(他人資本効果)が期待できる。 (例)「元手100万円+エンジェル5人×100万円の投資」(自己資金)+「金融機関から600万円の融資」→12倍のレバレッジ発生 ・事前確認制度で自社が投資対象企業であることを証明でき投資を得やすい。 次に、投資家メリットにつながる事前確認制度とはどんな制度でしょうか。 <事前確認制度> ・創業間もないベンチャー企業が個人投資家から投資を受ける前にエンジェル税制の対象か否かについて国(経済産業局)の確認を受けることができる制度で、これによってベンチャー企業は投資を行おうとする個人に対してエンジェル税制適用企業であることを証明でき、事前確認が行われた場合には、経済産業省のホームページで会社名を公表します。



エンジェル税制とは

「エンジェル税制」をご存知ですか? 創業間もないベンチャー企業に資金を提供する個人投資家のことを、困っている人を助ける天使に例えてエンジェル投資家と呼びます。エンジェル税制とは、そのような投資家に対して税の優遇をする制度で別名「起業応援税制」、正式には「ベンチャー企業投資促進税制」と呼ばれています。 この制度は、個人投資家(法人は対象外)が経済産業省の認定を受けた一定の未上場ベンチャー企業(特定中小会社)に対して投資(その企業の株式を購入しエンジェルになる)を行い、その旨の確定申告をすることにより税法上の優遇措置が受けられるというものです。

伊達な商談会参加企業

仙臺スイーツ工房 手作りワッフル



手作り、大量生産 仙臺スイーツ 工房の製造工場は仙台市東区...

「以前勤めた会社で食品バイヤーをやったときに、会社をやめようというときに、たまたまワッフルなら買ってやるという業者さんが現れた。...

「以前勤めた会社で食品バイヤーをやったときに、会社をやめようというときに、たまたまワッフルなら買ってやるという業者さんが現れた。...

仙臺スイーツ工房 株式会社フォレストコーポレーション 代表取締役 菅原 幸平

塩竈復興浦戸のり

浦戸の名をつけた海苔が販売され、塩竈のりフェスティバルというイベントも二回目を迎えた。

「塩釜浦戸復興藻塩のり」はエクストラバージンオリブオイルをつけて焼き、浦戸の藻塩をまぶしている。...

「東日本大震災で亡くなった叔父の友人の方が海苔の販売をしていた。それで、海外遠征のときには、必ずその海苔を持って行って、食べていました。...



「塩竈復興浦戸のり」のパッケージ写真



5月26日には、2回目の開催となる「復興祭 塩竈浦戸のりフェスティバル」を開催し、1500人が参加する盛り上がりとなった。

NPO「High-Five」 塩釜市千賀の台2丁目12-7 代表 畑中みゆき



畑中みゆきさん

「浦戸特産の海苔を中心に、食・音・アートが織り成すノリノリなフェスティバルです」

「最近、漁師の顔になっただけでいわれます」と笑う。...

今年1月、NPO「High-Five」が認可され、復興プロジェクトの推進組織ができた。...

東北ニュービジネス協議会 中小企業支援団体 2

新しい事業の手法や領域にチャレンジする経営者をサポートし、異業種間の交流・連携の場をコーディネートする東北ニュービジネス協議会(TNB)は、1988年の発足以来、東北を中心に多彩な事業を展開している。

主な部会活動

流通ビジネス研究部会 部長:エスケシー 代表取締役社長 羽田野 昌弘

経営研究部会 部長:東日本税理士法人 代表 小山 久義

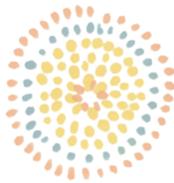
海洋ニュービジネス研究部会 部長:東北大学名誉教授 宮崎 正俊

ソリューション部会 部長:一般社団法人ヒューマン・ネットワーク仙台

社団法人東北ニュービジネス協議会 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 2-8-13

東北ニュービジネス協議会 主要事業として「ビジネスマッチング」と「東北ニュービジネス大賞表彰」があり、前者は新しいビジネス構築の場を提供する...

第8回を迎える「ビジネスマッチ東北」が今年11月7日(木)、仙台市の「夢メッセみやぎ」を会場に開催される。



1957年に設立された「日本中小企業家同友会」は、五十年を超える歴史を背景に全国の「同友の輪」を広げ、独自の事業や活動を展開している。今回は今回は事務局長の伊藤 威氏に最近の活動内容について話を伺った。

宮城県 中小企業家同友会

中小企業支援団体 3

宮城県中小企業家同友会は1974年に全国で15番目に設立し、現在県内14支部で計10300社

宮城県中小企業家同友会とは？

中小企業家同友会は、1957年に日本中小企業家同友会(現東京中小企業家同友会)として設立されました。「よい会社をつくる」「よい経営者になる」「よい経営環境をつくる」の3つの目的に賛同する仲間が全国に広がり、現在は全47都道府県に4万2000社の会員を有しています。

近年は、1990年から一地域で若者を育てる「若者を残す」の宣言を取り組んできた共同活動が「キャリア教育文部科学大臣表彰」を受賞し、「学校訪問」就職懇談会「高校・大学での出張講座」インターシップなどをはじめとする「学校との連携」がすすんでいます。

震災で発揮された全国同友会の絆と会員経営者の底力
大震災の直後から福島、宮城、岩手の東北三県の同友会は、「自分たちのまちは、自分たちの手で復興する！」を合言葉に復旧、復興作業に取り組まれました。

宮城県中小企業家同友会
〒983-0852
宮城県仙台市宮城野区榴岡1-6-3
東口鳳月ビル4F
電話 022-355-2771



の会員で構成されています。あくまで経営者が自主的に組織する「任意団体」として、行政や特定の組織からの財政的支援や活動の制限などはなく、自主自立した団体として活動しています。

加えて、2010年6月18日に閣議決定された「中小企業憲章」を地域で活かすために「地域の産業と暮らしの将来の展望図」として全国的に制定が進んでいる「中小企業振興基本条例」の制定運動にも取り組み始めています。

震災から1年後の帝国データバンクが実施した調査によると、宮城県2575社対象で休廃業が367社(14.3%)実態不明が77社(3%)も存在していたのに対して、宮城同友会の石巻・気仙沼・南三陸の各支部

■日東インダ 鍋島 孝敏 社長

— 売込みの効く社員より、信頼できる社員を —

「わたしは文系なんです、理系の塊みたいな「ハカリ屋」になるなんて、人生わかんないもんです」と、日東インダの鍋島社長は笑う。「だけど、苦手な分野の仕事は人を成長させてくれる。それしかないとなれば、誰でも必死に頑張りますからね」と、苦手なものを職業とすることの効用を説く鍋島社長は言葉を継いだ。

1923年、仙台で創業した日東インダは、計量器の大手メーカー・インダ、鎌長製衡の両社と東北地区総販売代理店契約を結び、小売店を通さない計量器のユーザーダイレクト販売とメンテナンスを業として発展してきた。一昨年の東日本大震災においても日東インダは、気仙沼、石巻の両営業所が大きなダメージを受ける中、被災地区の魚市場やスーパーなど、人の暮らしに深く関わっているところの計量設備の復旧に全社を挙げて努めてきた。

今年4月、日東インダは5名の新入社員を宮



城県中小企業家同友会が行う《合同入社式》に参加させた。「たった一人しか新入社員が居ない会社もありますからね。わたしたち中小企業は仲間をつくり、足りないところを補い合って生きていくんです」と鍋島社長。「ウチの会社は2月に新入社員を採用するんです。口下手が理由で就職活動に後れを取る学生も居るんですが、わたしは口達者な人間よりも口下手の方が好きなんです。売り込み上手よりも誠実な人間をということでしょうか、「売れ残った方に福あり」ですよ！」と、鍋島社長は笑った。

《人間力をつける教育》を実践する鍋島社長の面目躍如というところか、日東インダはいま10年後に待ち受ける創業100周年に向けて力強く歩んでいる。

日東インダ株式会社
代表取締役社長 鍋島 孝敏
〒984-0015
宮城県仙台市若林区卸町5丁目3-5
電話 022-235-3561

■ヴィ・クルー 佐藤 全 社長

— 社員は売上を上げる 道具じゃない —

「どれだけの社員が戻って来てくれるか自信がなかった」と、震災直後の状況を振り返りながら佐藤社長は語る。しかし、その心配は杞憂に終わった。社員全員が戻って来たのである。「よし、この社員の為にも会社は絶対に潰さない！」佐藤社長は決意した。「人と車と地球を元気にする会社」ヴィ・クルーの心意気を示すエピソードである。

車体整備業を本業とするヴィ・クルーは、「復興には「こころのケア」も大事」と、社の技術を活かした『移動図書館車』を大手出版社に働きかけ、それを実現した。インパクトのあるデザインとペインティング技術はその後ベガルタ仙台の選手専用車にも取り入れられ、選手やサポーターのモチベーションを上げている。地域の《ものづくり協議会》の会長も務める佐藤社長は、「中小企業の技術を結集して新しい商品を開発する」とその意気込みを語る。エコ商品として注目を集めるLED使用の「路肩灯」(クルマの車体に取り付



けられ後部車輪の周辺を明るく照らす安全灯)やソーラー式街路灯などの自社製品もその現れであろう。また、《バスの総合病院》を掲げるヴィ・クルーは、全てのクルマを単なる「物」としてではなく、人間の良きパートナーとしての「者」と捉え、その健康状態を常に良好な状態に保つことを心がけているという。その根底に流れるものは、「社員は売上を上げるための道具ではない」という、ヴィ・クルーの「人間尊重の精神」であろう。

《後記》
会社の玄関に巣をつかったツバメのために発泡スチロール製の台座(糞受け)を設置、その数が今年またひとつ増えた。ヴィ・クルーの「生き方」を垣間見た。

株式会社ヴィ・クルー
代表取締役 佐藤 全
〒989-0215
宮城県白石市斎川字伊具田25-1
電話 0224-24-3511

■マルチプライ 五十嵐 弘人 社長

— 地域と共に歩める人となれ —

お茶を運んできた中国人の女性従業員に目を向けながら、「この人は独学で日本の「宅建」を学んで資格を取ったんですよ。面接に来たその場で採用を決めました」と、五十嵐社長は語る。なるほど、幾多の困難を乗り越えてきた苦勞らしい人を見る目と判断だ。

秋田出身の五十嵐社長は1996年、仙台市にビルメンテナンス会社・マルチプライを設立。以来17年に亘って事業とその領域を拡大してきた。現在、東北と北海道に六カ所の事業所を置き、昇降機、消防、電気、空気調整の全ての設備を一括して自社で管理するワンストップ(一手引き受け)方式を取り入れビルオーナーとの信頼関係を築いてきた。

一方、地域との関係を大切にマルチプライは、事業所を置く地域内の学校や公共施設などに清掃指導を行っている。実技を通じた清掃指導は自社の社員にとってもユーザーの本音を聞くチャンスでもあり、生徒や学校及び施設職員の物を大切にしようとする意識の向上や心の教育にもつながると考えるからだ。



自社の社員教育を兼ねた施設清掃ボランティアも、毎年恒例の社内行事となっている。「ウチの会社は、自分たちが住んでいる地域に積極的に関わって欲しいという願いを込めて、社員に「地域手当」を出しています。金額は多くないんですが」と、五十嵐社長は言う。町内会の役員を引き受けているある社員は、「事務用品や電話代、会合の参加費に当てています。毎月の事ですだからね、助かりますよ」と、笑顔を見せた。

ビルメンテナンスという本業を全うしながら地域とのより良い関係の構築を目指すマルチプライは、「地域は自分たちのもの、共につくっていくもの」という意識の下に、地域と共に歩む「地域社員」の育成に努めている。

マルチプライ株式会社
代表取締役 五十嵐 弘人
〒982-0033
宮城県仙台市太白区富田字南ノ西19-1
電話 022-243-6040

■東洋産業 玄地 学 社長

— “モノ売り”ではなく、“コト売り”を目指す —

「癒しを求めて温泉に来た人が、レジオネラ菌に感染して亡くなったというニュースを聞いたときはショックでした」と東洋産業の玄地社長は振り返る。清掃用品や公衆衛生資材を販売することを生業とする会社が、「人命を守る」という重い課題を突き付けられたのである。

一方、建材などの変化に伴い刷新を迫られる厳しい清掃業界の中で、「企業が果たすべき責任とは?」、「自分たちのミッションとは?」・玄地社長は悩み、自問自答しながら長い年月が過ぎていった。そして4年後、苦境の中から『ハイジェニックス フォームクリーニングシステム』は生まれた。

洗浄用の特殊な泡を高速噴射させながら浴室を磨いていく画期的な手法は、温泉業界にとどまらず、ビルメンテナンスや他の業界からも高い評価を受け、東洋産業は、『ハイジェニックス』の名を冠した自社ブランドの製品やシステムを全国に展開している。



「わたしたちは、ただ商品を買っていただくという“モノ売り”から、その商品の生まれた背景や、それを使用する場を考えた“コト売り”を大切にしています」と玄地社長は語る。中小企業家同友会の《経営指針を創る会》で自社の目指すべき方向を学びながら、事業を総合的に捉える必要があるとの問題意識の下、それまでの《清掃用品総合卸》から《総合衛生プロデュース業》という新たな事業定義も構築した。

「やはり、あの時のレジオネラ事件のニュースが原点ですね。「人命を守る」という最も大切な課題を与えてくれたのも、思えばレジオネラ菌なんですよ」と、若き社長は笑った。

東洋産業株式会社
代表取締役 玄地 学
〒984-0042
宮城県仙台市若林区大和町1丁目17-15
電話 022-783-9110

情報トピックス

皆さんのイベントや催事の情報をお寄せ下さい。 hensyu@human-sendai.net(編集部)

■地元風景を水彩画で復活&活性化「仙台北下町百景」

「仙台北下町百景」とは、四季折々の表情豊かな仙台を情緒的な水彩画に描きしるし、多くの人に見ていただくことで「仙台ファン」を増やしていこうというプロジェクトです。東日本大震災は街や人のところにも大きなダメージを与えましたが、そんな中、「自分たちの強みや持ち味を發揮して、人のところに明るい灯をともしよう！」と企画されたのが、印刷会社に勤める人たちが中心になった「城下町百景」プロジェクトです。仙台の画家とコラボレーションしたこの企画は、地元根ざした情報サービスを行いながら「地域の誇りと絆」を創造し、地域の人と商店と企業を結びながら明るい街づくりに貢献しています。

尚、仙台北下町百景には、「街の風景シリーズ」、「名所旧跡シリーズ」、「郊外・大学シリーズ」の三つのタイプがあります。

【問い合わせ：孔栄社 電話 022-262-4547】

「オリジナル水彩画」相談受付中!

地元・仙台を拠点に活躍している画家・土橋征史氏の描く仙台の街並みに、あなたの会社の建物やお店を描きしるしてみませんか?会社やお店のある風景を描いた画は企業のオリジナル商品として展開することも可能です。あたたかみのある水彩画は、名刺やカレンダーをはじめとするあらゆる広報ツールに使うことができ、会社のイメージアップや話題提供にもつながることでしょう。



大町芭蕉の辻

■被災地東北のラグーマンへ大漁旗を送ろう!

東北の被災地支援活動のひとつに「フライキ・プロジェクト」があります。このプロジェクトを立ち上げたのは、ひとりのラグーマンでした。その人園部浩善氏は仙台に勤務していた頃、ラグビー仲間が育英学園高校ラグビー部の監督をしていた縁でチームの合宿や遠征、全国大会にも応援団として参加し、多くのラグビー関係者との出会いや交流も忘れられない思い出となりました。震災直後に釜石市を訪ね、災害ヘリコプターの発着所になった新日鉄釜石松倉グラウンドの青々とした芝生を見た時、全盛期の新日鉄釜石(現シーウェイブス)がトライするたびにスタンドにはためいたカラフルな「大漁旗(フライキ)」を思い出したと園部氏は言います。

埼玉の自宅に戻り、当時の写真を見ながら、「自分にできる被災地支援は何だろう」と考えた時、再びあの「大漁旗」が園部氏の脳裏に甦りました。「よし、これで行こう!」と、氏

【問い合わせ：フライキプロジェクト 電話 090-1113-7253(園部)】



「フライキ・プロジェクト」を立ち上げ、全国のラグーマンやスポーツ愛好者に支援を呼びかけました。たくさんの賛同者を得て、東北のラグビー支援活動「フライキ・プロジェクト」は、現在、高校・大学のラグビー部をはじめ、ラグビースポーツ少年団や社会人チームに至るまで、東北で被災したチームを中心に29のラグビーチームに「フライキ」を贈り届けています。「東北にあるすべてのラグビーチームにフライキ贈りたい!」と、園部氏は目を輝かせながら語ります。

■健康で長生きの秘訣は「腰を柔軟」にする簡単体操にあり

「真向法(まっこうほう)体操」をご存じですか。手軽にできる四つの運動(基本ポーズ)を毎日短時間行うことによって、体の歪みを直し、人間が本来持っている柔軟性と自然治癒力を蘇らせるという健康体操法で、1933年、福井県出身の長井津(ながいわたる)氏によって創案されたものです。

真向法体操の目的は「アンチエイジング」です。心や身体の時間経過を遅らせて、精神や肉体の老化速度を少しでも遅らせるという考えです。古来より日本では茶道、武道など、道と称するものは全て腰を立てる動作「立腰」を大切に、姿勢が及ぼす心身への影響を重要視してきました。

これと同じく、元は仏典の「礼法」をヒントに生み出された真向法体操も、「健康心」(健やかな体に康らかな心が宿る)をスローガンに掲げ、今日に至るまで80年の年月を歩んできました。

1969年には、文部省の認定を受けた社団法人真向法協会が設立され、真向法体操の普及と啓蒙活動に努めています。東京に本部を置く真向法協会は現在44の都道府県に、180

以上の実践活動グループ「真向法」があり、真向法教室を開校、たくさんの人が真向法体操を実践しています。

1984年に宮城支部として組織され来年30周年を迎える「宮城真向法体操会」は、現在9教室、100人の会員が月1回2時間ほどの「修練会」に集い、各教室で仲間と共に語り合い、楽しく修練を積んでいます。

我が国はいま世界に例をみない高齢社会となり、医療費の増大や老人介護などが大きな課題になっていますが、公益社団法人真向法協会は「真の豊かな健康長寿社会」の実現を目指し、会員の募集や指導者の養成にも全国規模で取り組んでいます。



【問い合わせ：宮城真向法体操会 <http://www.makkoho.jp/sendai/top.htm>】

■ギターで脳を活性化?さわったことのない初心者でもOK!

仙台市若林区五十人町にある「仙台若林ギター教室」は、アットホームな小さなギター教室です。「ギターは生涯の友」、そう感じてもらえるような楽しいレッスンを心がけています」と言うのは、教室の主宰者・岩崎仁先生。

優しく、いい指導に定評があります。ギターは独奏はもちろん、弾き語りや歌の伴奏など、幅広く楽しめる楽器です。クラシック、フォーク、演歌など、好きなジャンルの音楽を自由に選び、それに取り組むことができます。初めてギターを習う人も、長いブランクのある人も、楽譜を読めない人も、レベルアップを願う人も、どんな人にも、その人のレベルや希望に合わせたレッスンが「仙台若林ギター教室」の人気の理由です。

- 〈岩崎 仁プロフィール〉
- ・福島県福島市生まれ。13歳から独学でギターをはじめ。
- ・山形大学クラシックギタークラブに所属。ソロ、アンサンブルで活躍。
- ・ギター及び和声学を齋藤功一氏に師事。
- ・1980年、東北ギター音楽振興会認定グレード検定一級合格。
- ・オカリナとのデュオグループで小学校、社会学級、福祉施設などで幅広く演奏活動を行う。
- ・ギターサークルを長年に亘って主宰・指導。仙台市リバーセンターなどで定期コンサートを開催、好評を博す。
- ・現在、仙台市若林区にて仙台若林ギター教室を主宰する傍ら、サークル指導、演奏活動を行っている。

【問い合わせ：仙台若林ギター教室 電話 070-5122-1864(岩崎)】

■講演会

大棟 耕介氏講演会 一クラウン流コミュニケーションと笑いの伝播—
・日時：2013年8月17日(土)13時30分～15時30分
・会場：仙台市シルバーセンター
・参加費：2000円
(講師プロフィール)
大棟 耕介(おおむね こうすけ)：(有)プレジャー企画 代表、現役クラウン。

「ホスピタル・クラウン」として病院で患者や子どもたちに笑いを届けている。学校、企業での講演も多く、現在は「笑いは職場環境を変える」などの講演会を年間200本ほど行っており、聴講者を飽きさせない話には定評がある。



大棟耕介氏

【問い合わせ：橋企画 電話 090-8925-1607(橋) ddn10044@ddn.ne.jp】

株式会社三森コーポレーション
代表取締役 守屋 隆之
〒983-0821
宮城県仙台市宮城野区岩切3丁目2-24
電話 022-255-6564

守屋社長の他の役職

JARA副理事長
株式会社SPN 代表取締役専務
宮城県中古自動車解体再生部品卸協同組合副理事長
特定非営利活動法人 環境会議所東北理事

(注)JARA 特定非営利活動法人全日本自動車リサイクル事業連合。使用済み自動車(廃車)の適正処理を促進する目的で発足したNPO法人。

「一番目に、『私たちは自分の人生を精一杯思いっきり楽しんでみます。そのために、ただ『今の瞬間』を思いっきり楽しむ事に全力を尽くします。楽しい人生とは、『楽しい瞬間の積み重ね』であることとを理解し、『今』を楽しみ、『未来』や『楽しい人生を実現します』と、掲げています」
守屋隆之社長は締め括った。

資源の循環型社会を担う

ジェー・イー・シー 蔵王資源リサイクル工場

ごみ減量、リサイクルの推進で、資源循環社会を実現しようという取り組みが進められている。リサイクルの最前線、ジェー・イー・シー蔵王資源リサイクル工場を訪ねた。

「ボール化されたプラスチック製容器包装が大トラックで1日平均10台運び込まれます。それを②で処理して、型(粒状)にします。再

場は蔵王町大字小村崎にあり、東北自動車道村田インター近郊にある。蔵王資源リサイクル工場には、仙台市でたどり着くまで、約100キロのトラック製容器包装約1万3千トン(2011年)のうち4千トンが運び込まれる。その4千トンは、仙台市内の工場でペーリ化(圧縮梱包)され、約1メートル立方の大きさで、重さ300キログラム。PP(ポリプロピレン)とPE(ポリエチレン)を分けて、単一素材だけに再生処理します。PPとPEを手作業で分け、最新の光学選別機を介して選り分け、水洗、乾燥、成

この工場から廃棄物を出さない。「水洗する水は再生循環しています。それでも、残るものがありますが、木屑、廃プラスチック類、

生原料のペレットになり、この工場では80人が働いている。資源有効利用促進法は商品の容器のうち、主にプラスチック製のもの、商品の包装であって主にプラスチック製のもの、で、識別マークをつけることが義務づけられている。「リサイクル製品でも品質が問われます。PP(ポリプロピレン)とPE(ポリエチレン)を分けて、単一素材だけに再生処理します。PPとPEを手作業で分け、最新の光学選別機を介して選り分け、水洗、乾燥、成



光学識別機



混合物破砕機

紙くず、繊維くずはサーマルリサイクルの固形燃料となり、発電所、製紙工場、製鉄所などで使う石炭やコークスの代替燃料となります。余すところなく再生。この工場から廃棄物を出さないというのが、この工場の使命。約450名、積極的に見

「見学者は去年の実績で、約450名、積極的に見

「純度の低い再生原料は価格が安いのです」ペレットの色は、商品の印刷の色だという。

「余りクリーンで適正な処理(再生)を通して資源の無駄遣いを減らし、お客様に安心を提供し、地域の皆様と地球環境に貢献することを経営理念に掲げる。建設解体事業部、土質改良部門、産業廃棄物(建設副産物)中間処理部門、

破砕処理部門などの拠点宮城県内に置き、福島県では、放射性物質除去にも携わっている。東日本大震災では、油圧ショベル、破砕機、ふるいの重機が移動して、災害廃棄物の処理にあたった。また、迅速な復興には、効率の良い運搬・再生・処理をするべく、提案し、得意分野を持つ企業が連携する「大規模災害廃棄物処理有限責任事業組合」を設立した。社員は160名。

株式会社ジェー・イー・シー
代表取締役 真野 孝仁
〒986-0861
宮城県石巻市蛇田字新塚寺 81 番地 3
電話 0225-96-9662



ペレット

はじめまして!ヒューマン・ネットワーク仙台です。

大震災から2年4ヵ月が経ちましたが、このたびニュービジネスや起業ベンチャーを考えている個人及び法人のために、復興支援を視野に入れた異業(異能)種交流やマーケティング&プランニングの実践、そして「出会いふれあい」の場を創出するアシスト組織を設立しました。

「勝ち組」「負け組」ではなく被災地における「生き抜く力を共有」していくシステムを皆さんと一緒に創っていきます。“気軽に相談できるサロン風情報交流”を基本姿勢に、人的ネットワークを活用した相互交流を促進し、販路の拡大や新規マーケットの共同開発などをアシストします。

地元中小企業が求める①人的ネットワーク(ビジネス・趣味同好)づくり②異業種交流団体とのネットワーク構築③情報発信アシスト企画として、テレビ局(新聞社)への情報提供や情報紙の発行、加えて広域宮城商圏(含・秋田・岩手・山形・福島)をカバーする観光・物産サイトも活用します。

そして④地元大学を連携したプレゼンテーションの場の創出など、異業(異能)種交流活動を立体的に組み立てていきます。

(一般社団法人ヒューマン・ネットワーク仙台 スタッフ一同)

中小企業支援・マーケティング&プランニング活動

- お寄せいただいた情報から『活きのいい旬』な情報は取材し掲載します。
※メディアに対しての配信は有料です
- PC やスマホから基本情報を入力。弊社サイトや月刊情報誌に無料掲載。
※掲載については弊社の掲載基準に合わせます

• 広報(宣伝)、企画プランニングをアシストします。

• 自費出版(含web)企画をお手伝いします。

• 社員教育セミナーをお手伝いします。

• 動画資料の制作をアシストします。

• 年間ページビュー数180万の広域地域ポータルサイト「周遊蔵王・あぶくま・仙台」「周遊栗駒・最上・平泉」及び「貞山運河事典」「仙台転動com」を活用した情報発信をします。

あなたの会社の 広報・宣伝、販売促進部門 としてご利用下さい。



- パブリシティ支援活動
取材記事を制作
テレビ局などメディアに配信(有料)
※サイトへも掲載します。



取材スタッフ募集 一緒に作ってみませんか?

E-mail hensyu@human-sendai.net (編集部)

編集後記

今回のパイロット版で特集した4つの中小企業団体の皆さんは、それぞれの団体の特色を生かして大震災からの早期復興を目指し、被災企業やベンチャー支援育成の活動を積極的に取り組んでいます。

気軽に各事務局に声掛けて活用して頂ければ幸いです。さて、東北ニュービジネス協議会の研究部会「マーケティング部会」「ソリューション部会」の有志らで法人化した一般社団法人ヒューマン・ネットワーク仙台は、中小零細企業の「広報&販促部門」のアウトソーシング組織としてマーケティング、広報宣伝、販路拡大のアシストを目的に今春立ち上がりました。

活動の中核となるマーケティングチームは①支店経済都市仙台で人口比10%を超えて消費者層の中核を占める転勤族マーケットの顕在化②仙台商圏を外側から支える山形・福島・岩手など隣県消費者の動向③現在、最大有権者層となり政策に大きな影響を与えるクラス(階層)になったアクティブシニア層の企画開発④被災地を含めた地域振興のプランニングなどです。

これらのマーケティング「素材」に中小零細企業の販促企画を絡ませて売上増進に繋がるよう頑張ります!

又、月刊情報誌(本誌)の発行や南東北観光・物産サイトの企画運営、ビジネスプレゼンテーションの開発など皆さんと一緒にガンガン実行していきます。どうぞよろしく!(平)

ヒューマン・ネットワーク仙台を「ご推薦」頂いた方々

※敬称略 / 順不同

◎東北ニュービジネス協議会 会長 大山健太郎(アイリスオーヤマ 代表取締役社長) ◎東北大学大学院 経済学 研究科 教授 大滝精一 ◎東北大学 名誉教授 宮崎正俊(貞山運河の魅力再発見協議会 会長) ◎藤澤信一(元仙台リビング新聞社 代表取締役社長) ◎ネットワーク創研 永島貴弘(元サンケイリビング新聞社 専務取締役) ◎JTB 東北 地域交流推進部 地域交流事業推進部長 阿部昌孝 ◎浦霞醸造元佐浦 代表取締役社長 佐浦弘一 ◎東陽 写場 代表取締役会長 後藤東陽(みやぎ憲法九条の会 共同代表) ◎企画室・コア代表取締役社長 三田公美子 ◎公認会計士 服部夕紀(元朝日新聞記者) ◎長岡法律事務所 弁護士 長岡壽一(元山形県弁護士会 会長) ◎宮城 真向法体操会 会長 大久保直政(中山歯科医院 院長) ◎ゆりりん愛護会代表 大橋信彦(元名取ハマボウフウの会 代表/元電通) ◎NPO水・環境ネット 東北代表理事 新川達郎(同志社大学 教授)/専務理事 高橋万里子 ◎NPO アジア起業家村推進機構 常務理事 小林一(元UR) ◎NPO日本ITイノベーション協会 理事長 増山弘之 ◎東北ニュービジネス協議会/山形県支部 専務理事 佐藤元彦 ◎LLC B&G-NEXT 代表 船橋利幸 ◎直派若柳流 理事 若柳梅京(麻生菜穂美) ◎アイリンク 代表取締役 齋藤浩昭 ◎ココム 代表取締役社長 男澤亨 ◎宮城真向法体操会 副会長 岩住真吾 ◎フライキプロジェクト 幹事 園部浩吾 ◎朴沢学園 明成高等学校調理科 教諭 高橋信社 ほか多くの方々のご支援を頂いております。(2013年7月31日現在)